

添付 13-19 の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価の代表ブロックが変わらないことを説明すること。

当該弁の弁ふた取替えを反映した解析モデルを用いた耐震評価を行い、水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価についても実施している。

影響評価の結果、『資料 13-19 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果』の記載を変更する必要はないことを確認している。

1. 配管の代表ブロックの評価結果

『第3-2-3表(1/7) 水平2方向及び鉛直方向地震力による影響評価結果』において、「一次応力」は余熱除去設備配管の代表ブロック RH12、「一次＋二次応力」、「疲労評価」は一次冷却設備配管 RC02 の裕度を上回っており、記載の変更は不要である。

評価対象設備	応力分類	従来発生値	2方向想定発生値	評価基準値
余熱除去設備配管	一次応力			
一次冷却設備配管	一次＋二次応力			
	疲労評価			

今回の評価結果

評価対象設備	応力分類	従来発生値	2方向想定発生値	評価基準値
RH01	一次応力			
	一次＋二次応力			
	疲労評価			
RH08	一次応力			
	一次＋二次応力			
	疲労評価			

枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

2. 代表弁の評価結果

『第3-2-3表(3/7) 水平2方向及び鉛直方向地震力による影響評価結果』の弁（主蒸気逃し弁）裕度を上回っており、記載の変更は不要である。

評価対象設備	加速度確認部位	従来 応答加速度	2方向想定 応答加速度	機能維持確認 済加速度
弁（主蒸気逃し弁）	弁駆動部	6.0	7.6 (裕度：0.78)	6.0*

※：当該弁については、弁駆動装置は11.0Gで動作が確認できている。

今回の評価結果

評価対象設備	加速度確認部位	従来 応答加速度	2方向想定 応答加速度	機能維持確認 済加速度
8701A	弁駆動部	2.6	3.7 (裕度：1.62)	6.0
8701B	弁駆動部	1.3	1.9 (裕度：3.15)	6.0